



# 「臥竜鳳雛」



\*タイトルの意味は？調べてみよう

2021・6・23 第44号

学年主任 森本 聡一郎

今年のテーマ：3年間の「自分探しの旅」を感動に満ちたものにしよう

最上級生としての自覚ある行動と進路実現への挑戦

今月のテーマ：暑さに負けず、1学期の締めくくりに向けて良い準備を。

## 1. 「文化祭無事終了」

文化祭は盛会のうちに幕を閉じ、キミ達にはこれ以上ないほどの良い思い出が残ったことは万々歳ですが、一方で、このような機会を与えていただいたことや、その準備を進めていただいた人たちがいてくださったことは絶対に忘れてはいけません。仲間や後輩諸君など、みんながキミ達を主役にするべく尽力してくださったから、この日があったのです。この場に居られたのです。大きな思い出を手にすることができた引き替えに、学校に対して返さなければならない借りもそれだけ大きいということを念頭に置いて生活すべしです。お疲れさまでした。



### ☆次に来る人のために、泉を清く保とう

こと文化祭に限定して言えば、74回生は引き継いだバトンをきちんと次に繋いだように思います。キミ達が最上級生として当然の責務を果たしてくれたことに安堵の念を覚えますが、それとは裏腹に、当事者であるキミ達自身には行事遂行のプレッシャーなどなかったのではないのでしょうか。それほど「出来て当然!」「やって当たり前!」という顔で取り組んでいる姿が印象的でした。そのような横顔や後ろ姿には頼もしく映り、成長を感じさせました。やはり、お兄さん、お姉さんになってきたということなのでしょう。

しかし、文化祭というバトンを引き継ぐことができただけであって、3年生にはまだまだ責任が残っています。進路実現はもとより、残りの行事をきちんとこなしていくことが求められていることは言うまでもありません。もっと言うなら、次の学年に引き継げばよいというものではなく、より良い形で引き継げるかが問題なのです。

挨拶にせよ、マナーにせよ、今の校内の状態は、キミ達が引き継いだ時よりも良くなっているのでしょうか。もし、悪くなってきた部分があるとすれば、それは基準となる上級生に責任があります。上がピシッと締まっていれば、下もこれに倣うものです。さあ、キミ達の服装や言動は大丈夫ですか。後輩諸君に範たる生活はできていますか。暑い中でもう一度見直しておいてください。

キミ達は泉の水でたっぷり潤っておきながら、用が済めばそれを涸(か)らすようなことはあってはなりません。泉は同じような清さで残さなければなりません。行事が終わって生活が乱れるようでは、泉を汚したり、涸(か)らしたりしているのと同じです。大喜びした行事の存在意義が問われるような行為に流れるのなら、このような行事をした意味がありません。結局は、キミ達に感謝の気持ちがあるかどうか次第です。したいことだけしておいて、後のことは一切考えられないというのでは情けないですから。

## 2. 「6・7月行事予定」 梅雨の時期に体調管理を。登下校の通行にも注意を！

6月25日(金)	夏季補習(前期・中期・後期)申込締め切り
7月 1日(木)	期末考査(～7日) 卒業アルバム個人写真撮影(～7日)
7日(水)	①②期末考査 ③④考査返却
8日(木)	3年遠足(ネスタリゾート神戸)
9日(金)	①～④考査返却 午後、進研模試
10日(土)	進研模試(8:40～)
12日(月)	GTEC(高校最後です)
13日(火)	②③④探究発表会(全学年)
14日(水)	3年進路講演会(市民センター)

## 3. 「熱中症に注意しよう」

熱中症は暑いと起きやすいのは事実ですが、曇天でも、また、室内でも起きますので注意が必要です。症状の一つでもある熱射病も一歩間違えれば命取りになりかねませんので、「体調が変だ」と感じたら無理しないでください。対策として

- 1) 水分補給は十分に意識しておくこと
- 2) 睡眠不足になったり、食生活が乱れていたりすると、身体に大きな負担がかかりますから、自己管理が大切。
- 3) 汗をかくことで身体的な暑熱馴化(しょねつじゅんか)を促す。つまり、体を暑さに慣らしていくのです。涼しいところばかりにいるのはかなり危険です。

## 4. 「進路講演会」

- |       |  |                 |
|-------|--|-----------------|
| 1 日 時 | 令和3年7月14日(水)   | 8:40～           |
| 2 場 所 | 丹波篠山市民センター<br>丹波篠山市黒岡191   | TEL079-554-2188 |
| 3 内 容 | ①卒業生の講話(4名)<br>②講演会<br>テーマ「生徒の心に火を点け、モチベーションを上げる」<br>講師 堀 浩司 氏(龍谷大学高大連携フェロー)<br>経歴 1984年～2021年まで滋賀県内の県立高校教諭<br>生徒の心に火を点ける全体指導、きめ細かく丁寧な個人指導とともに定評があり、数多くの生徒を志望校に合格させている合格請負人です。 |                 |

